

第4回 新型コロナウイルス感染症による影響調査結果

(一社) 静岡県トラック協会

I 調査要領

1. 目的 会員各社における新型コロナウイルス感染症による影響等の現況を把握し経営改善対策に資するため調査を実施した。
2. 調査内容 県内会員事業所における新型コロナウイルス感染症による影響等について
3. 調査時期 令和2年11月4日～30日
第1回調査：4月22日～30日
第2回調査：5月18日～29日
第3回調査：6月24日～7月3日
4. 調査方法 会員事業者1,370社に対しFAX・メールで調査票を送付、FAXにより回収した。(※集計データの小数点以下は四捨五入で処理)
5. 回答数 427社 (回答率31%)

II 結果概要

1. 新型コロナウイルスの発生による企業活動への影響

「かなりマイナス影響がある」が25% (99社)、「ややマイナス影響がある」が54% (216社)となり、約8割の会員事業者がマイナスの影響を受けている状況にあることがわかった。

前回調査(6月24日～7月3日)と比較すると、「かなり(マイナス)影響がある」が47%→25%(22%減)、「やや(マイナス)影響がある」が36%→54%(18%増)で、(マイナス)影響があるとの割合は83%→79%(4%減)とやや減少した(前回調査ではマイナスとの表現なし)。これは、本調査の実施時期が「第3波」の波の直前であったためであると考えられる。

2. マイナス影響がある品目(荷種)

すべての品目(荷種)においてマイナス影響があるとの回答であった。なかでも主要品目である「完成自動車・オートバイ・自動車などの部品を含む」11%(72社)、「飲料・酒」8%(57社)、「紙・パルプ」8%(56社)で、マイナス影響があるとの回答が比較的多かった。

3. 10月～12月の「運送収入」の見通し

10月実績の運送収入は、前年同月比で「～10%減」が37%(154社)で最も多く、次いで「増減なし」が23%(95社)となった。前年同月比マイナスとの回答(「～20%減」「～30%減」「～50%減」「50%超」との回答の合計)は全体で68%となり、約7割の会員事業者が運送収入は前年同月比マイナスの状況であった。

ただ前回調査（5月実績）と比較すると、5月時点では「～30%減」、「増減なし」がそれぞれ23%で最も多く、次いで「～20%減」が22%となっていたのに対して、今回調査（10月実績）では「～10%減」が37%と最も多かったなどから、運送収入の減少幅はやや縮小したことが伺われる。

運送収入の見込みについては、11月、12月ともに前年同月比マイナスとの回答がそれぞれ68%、67%となっており、運送収入の年内における回復は見込難いことが伺われる。

4.10月～12月の「輸送トン数」の見通し

10月実績の輸送トン数は、前年同月比「～10%減」が37%（152社）で最も多く、次いで「増減なし」23%（94社）となった。前年同月比マイナスとの回答（「～20%減」「～30%減」「～50%減」「50%超」との回答の合計）は69%となっており、約7割の会員事業所が前年水準の輸送トン数を下回っている状況にあることがわかる。

11月、12月の見通しについては、前月同月比マイナスとの回答がそれぞれ70%、68%となっており、輸送トン数の年内における回復は見込難いことが伺われる。

5.10月～12月の「トラックの稼働状況」の見通し

10月実績のトラックの稼働状況は、前年同月比「～10%減」が36%（149社）と最も多く、次いで「増減なし」が33%（138社）となった。前年同月比マイナスとの回答（「～20%減」「～30%減」「～50%減」「50%超」との回答の合計）は59%で、約6割の会員事業所でトラックの稼働状況は前年水準を下回っている状況にあることがわかる。

11月、12月の見通しについては「増減なし」が、それぞれ36%（146社）、39%（155社）で最も多いものの、前年同月比マイナスとの回答は、11月が56%、12月が54%と過半数を超えており、運送収入や輸送トン数ほどではないものの、トラックの稼働状況の年内における回復は見込難いことが伺われる。

6.新型コロナウイルスの影響はいつごろまで続くか

「1年以上」が47%（196社）と最も多くなっており、次いで、「わからない」が33%（138社）となった。一方で、半年内に治まるとの回答（2～3ヶ月以内1%、半年程度19%）は20%にとどまっており、多くの会員事業所が新型コロナウイルスの影響は長期に及ぶとみていることがわかる。

7.資金繰りの状況

「この状況が続くと資金不足の可能性ある」との回答が46%（194社）で最も多かった一方、「とくに影響なし」が31%（130社）、また、「十分な資金の準備がある」が17%（73社）であった。新型コロナウイルスの影響が長期に及ぶとみられている中で、今後、約半数の会員事業所において資金不足の可能性があると認識していることがわかる。

こうした認識の下での具体的な対応状況としては、「売上金の回収ができない」2%（5社）、「銀行の貸し渋り」2%（5社）は、あまりなかった中で、「資金がショートする（した）ので銀行から借り入れた」46%（100社）との回答が多かった。

8. 資金繰り改善のためにとった対応策

また、資金繰り改善のためにとった対応策としては、「特に対応策は取らず」が34%（162社）で最も多かった。次いで多かったのは、「雇用調整助成金」24%（113社）、「新型コロナ特別貸付・セーフティネット貸付」23%（109社）で、持続化給付金などの利用も含めると、約6割の会員事業所が公的支援策を活用している状況にある。

9. 経営が維持できる期間

現在の状況が続いた場合において、最悪何ヶ月で経営が保てなくなる可能性があるかを聞いたところ、「特に危惧していない」が64%（253社）で最も多かったものの、次いで多かったのが、「6ヶ月以上1年未満」が31%（123社）であった。新型コロナウイルスの影響が長期に及んだ場合、1年以内に資金繰りに窮するとみている会員事業所が3割となっている。

10. 経費節減に関する取り組み

「接待交際費等一般管理費の削減」が42%（218社）で最も多く、次いで「エコ運転の徹底等運送コストの削減」が28%（146社）、「人件費の削減」が11%（55社）となった。運送費用や付帯業務費用、人件費といった必需的な費用の削減も取り組まれているが、それ以上に、間接経費的な性格を有する一般管理費の削減に取り組んでいることが伺われる。

11. 雇用面での取り組み

「有給休暇を取得してもらっている」22%（107社）、「雇用調整助成金を利用（検討中）」21%（102社）、「休業補償を実施している」14%（71社）が比較的多かった。一方、「解雇を行った」1%（7社）、「解雇を検討中」1%（4社）とした会員事業所はほとんどなかった。

ちなみに解雇をした人数は、全体でドライバーが13人、作業員が3人、事務職が2人であった。いずれの職種も、過去3回の調査に比べて、今回の調査が最も多かった。

一方、新型コロナウイルスの影響に関連してドライバー等を採用した会員事業所は、全体の12%（43社）となり、検討中は9%（34社）であった。新型コロナウイルスの影響で厳しい経営状況下にある中で、人材不足解決の好機と捉えている様子も伺える。

Ⅲ 調査結果

Q1:①所属分室		
伊豆	6	1%
東部	59	14%
富士	62	15%
清庵	50	12%
静岡	61	14%
中部	72	17%
中遠	45	11%
西部	64	15%
北遠	8	2%
計	427	

②車両数		
10台以下	114	27%
11~20台	128	30%
21~30台	62	15%
31~50台	57	13%
50台超	62	15%
計	423	

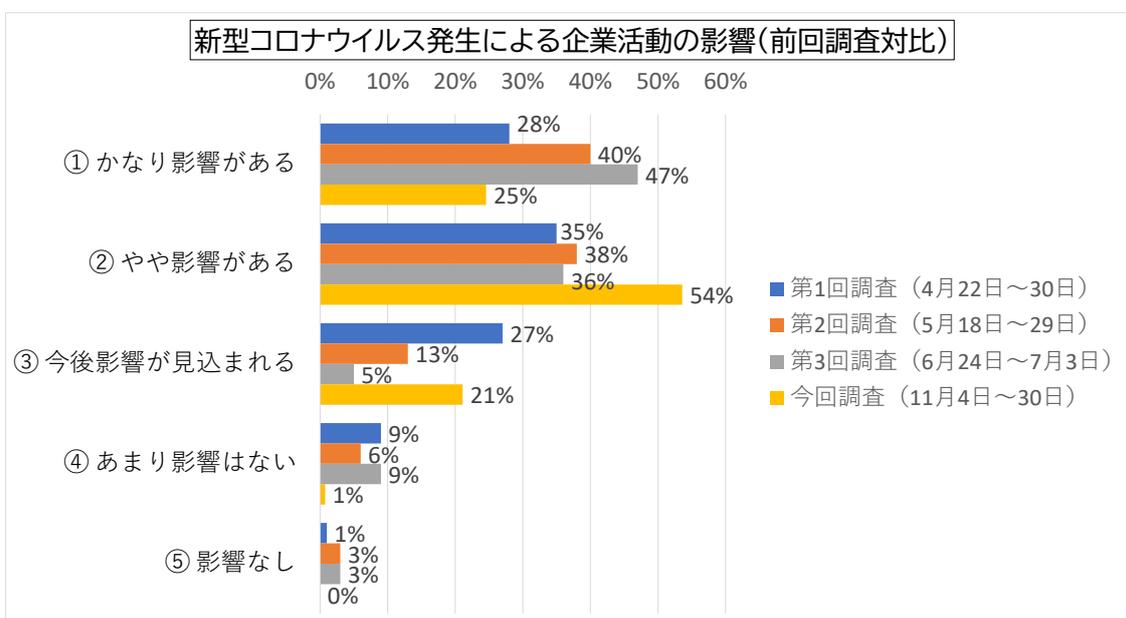
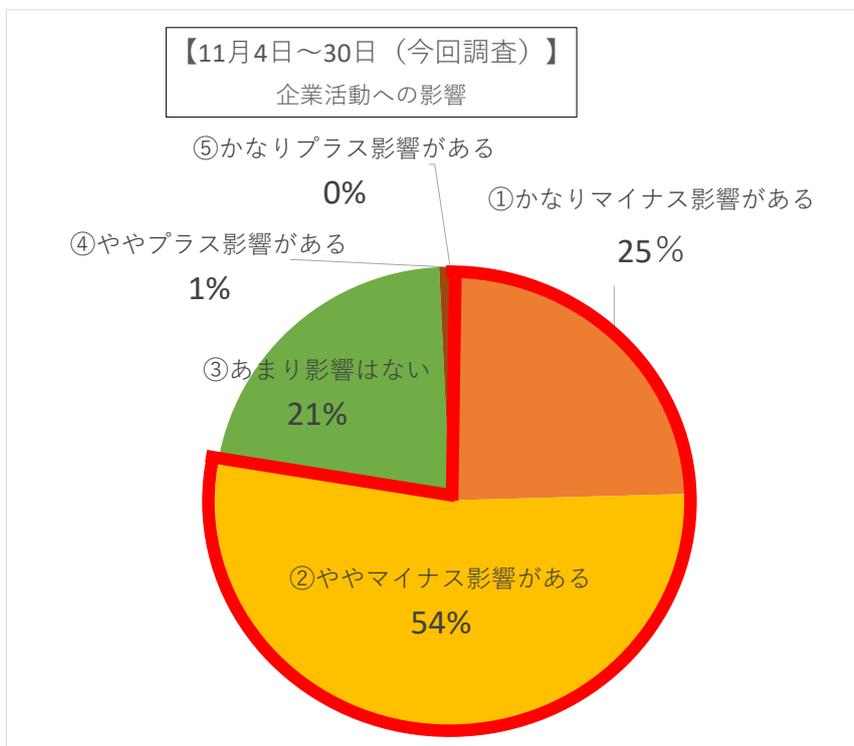
③全従業員数		
10名以下	76	18%
11~20名	109	26%
21~30名	69	16%
31~50名	72	17%
50名超	97	23%
計	423	



Q2: 新型コロナウイルスの発生によって企業活動に影響がありますか？

① かなりマイナス影響がある	99	25%
② ややマイナス影響がある	216	54%
③ あまり影響はない	85	21%
④ ややプラス影響がある	3	1%
⑤ かなりプラス影響がある	0	0%

n= 403



Q3: Q2で「①かなりマイナス影響がある、②ややマイナス影響がある」とお答えの方にお聞きます。(複数回答可)

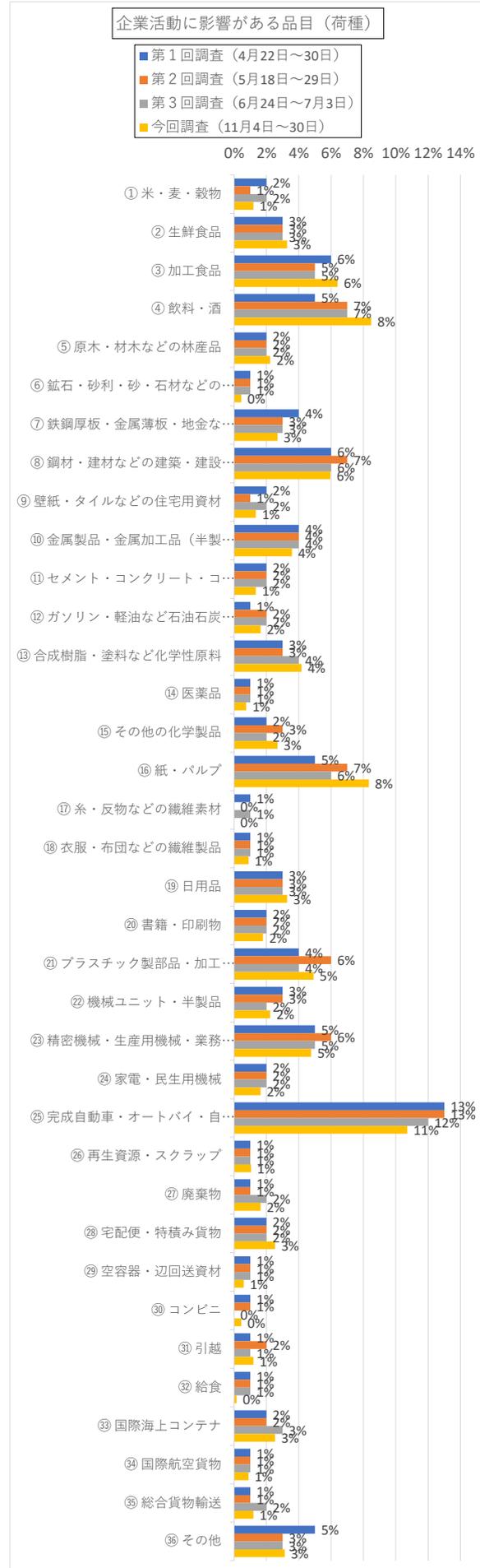
その品目(荷種)についてお聞きます。

① 米・麦・穀物	8	1%
② 生鮮食品	22	3%
③ 加工食品	43	6%
④ 飲料・酒	57	8%
⑤ 原木・材木などの林産品	15	2%
⑥ 鉱石・砂利・砂・石材などの鉱産品	3	0%
⑦ 鉄鋼厚板・金属薄板・地金など金属素材	18	3%
⑧ 鋼材・建材などの建築・建設用金属製品	40	6%
⑨ 壁紙・タイルなどの住宅用資材	9	1%
⑩ 金属製品・金属加工品(半製品)	24	4%
⑪ セメント・コンクリート・コンクリート製品	9	1%
⑫ ガソリン・軽油など石油石炭製品	11	2%
⑬ 合成樹脂・塗料など化学性原料	28	4%
⑭ 医薬品	5	1%
⑮ その他の化学製品	18	3%
⑯ 紙・パルプ	56	8%
⑰ 糸・反物などの繊維素材	0	0%
⑱ 衣服・布団などの繊維製品	6	1%
⑲ 日用品	22	3%
⑳ 書籍・印刷物	12	2%
㉑ プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品、加工品	33	5%
㉒ 機械ユニット・半製品	15	2%
㉓ 精密機械・生産用機械・業務用機械	32	5%
㉔ 家電・民生用機械	11	2%
㉕ 完成自動車・オートバイ・自動車などの部品を含む	72	11%
㉖ 再生資源・スクラップ	7	1%
㉗ 廃棄物	11	2%
㉘ 宅配便・特積み貨物	17	3%
㉙ 空容器・辺回送資材	4	1%
㉚ コンビニ	3	0%
㉛ 引越	8	1%
㉜ 給食	1	0%
㉝ 国際海上コンテナ	17	3%
㉞ 国際航空貨物	6	1%
㉟ 総合貨物輸送	8	1%
㊱ その他	21	3%

n = 672

㊲その他

・花き、農産物、イベント用品、レンタル用品、建設機械、残土
故障車搬送、液糖

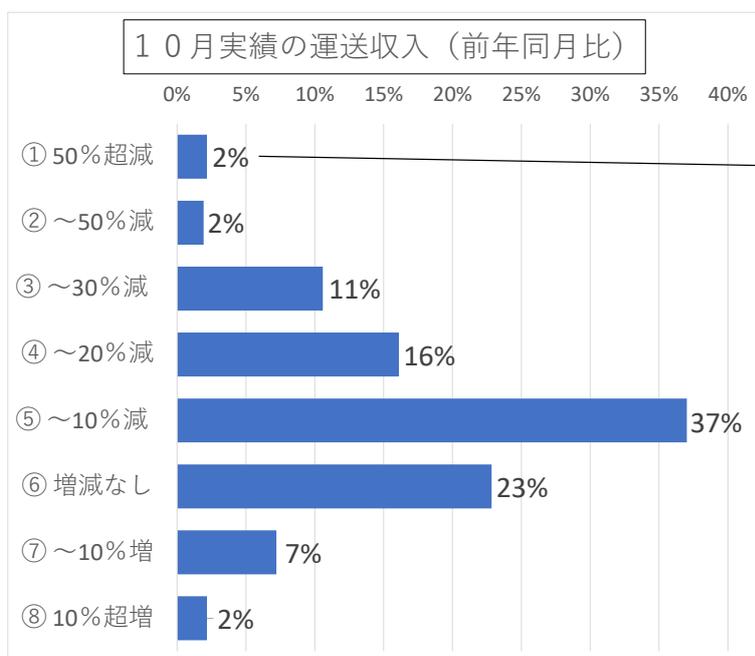


Q4: 令和2年10月～12月の運送収入についてお聞きします。(前年同月比)

【10月実績（運送収入）】

① 50%超減	9	2%
② ～50%減	8	2%
③ ～30%減	44	11%
④ ～20%減	67	16%
⑤ ～10%減	154	37%
⑥ 増減なし	95	23%
⑦ ～10%増	30	7%
⑧ 10%超増	9	2%

n= 416

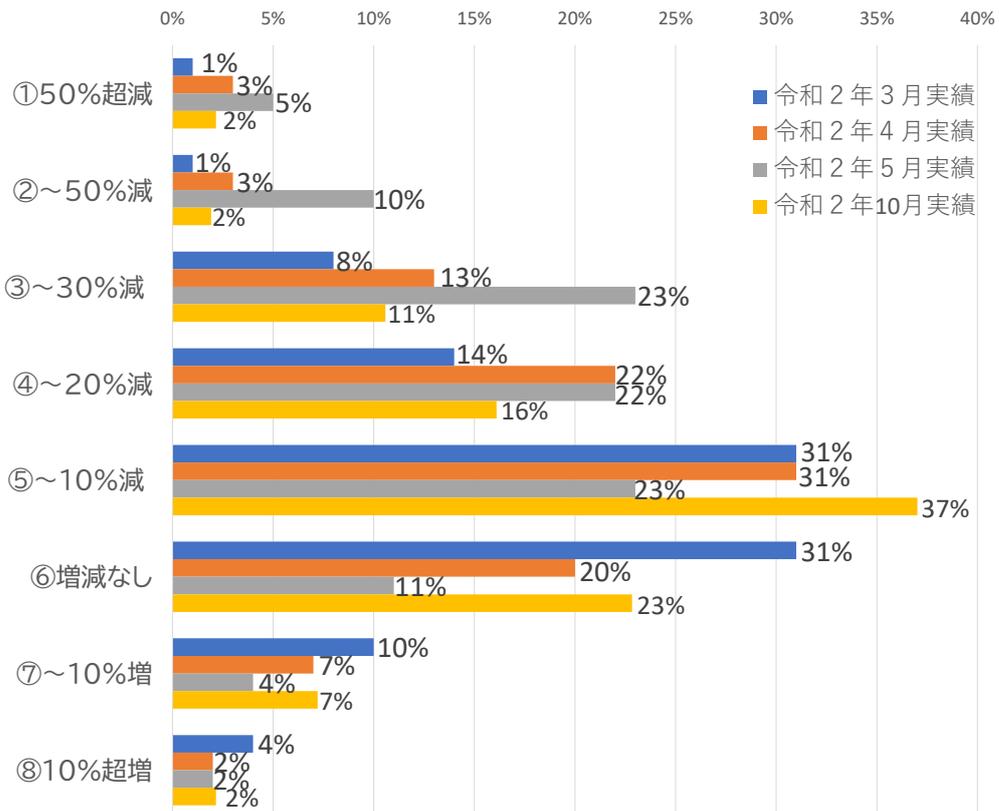


<輸送品目>

(①50%超減)

- ④ 飲料・酒
- ⑥ 鉱石・砂利・砂・石材などの鉱産品
- ⑧ 鋼材・建材などの建築・建設用金属製品
- ⑪ セメント・コンクリート・コンクリート製品
- ⑬ 紙・パルプ
- ⑰ プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品、加工品
- ⑳ 機械ユニット・半製品
- ㉓ 精密機械・生産用機械・業務用機械
- ㉔ 廃棄物
- ㉖ 総合貨物輸送

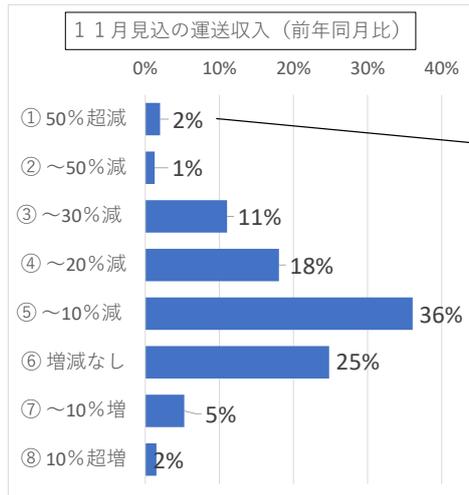
運送収入(前回調査対比)



【11月見込（運送収入）】

① 50%超減	8	2%
② ~50%減	5	1%
③ ~30%減	44	11%
④ ~20%減	72	18%
⑤ ~10%減	144	36%
⑥ 増減なし	99	25%
⑦ ~10%増	21	5%
⑧ 10%超増	6	2%

n= 399



<輸送品目>

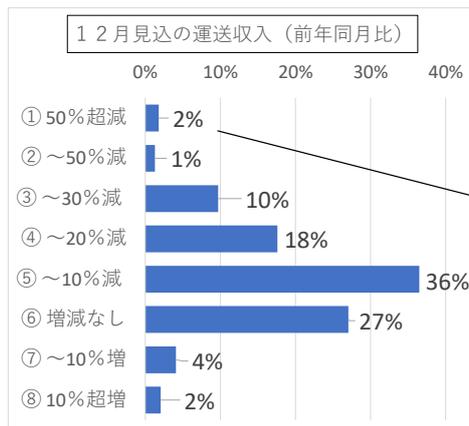
(①50%超減)

- ④ 飲料・酒
- ⑥ 鉱石・砂利・砂・石材などの鉱産品
- ⑦ 鉄鋼厚板・金属薄板・地金など金属素材
- ⑧ 鋼材・建材などの建築・建設用金属製品
- ⑩ 金属製品・金属加工品（半製品）
- ⑪ セメント・コンクリート・コンクリート製品
- ⑬ 紙・パルプ
- ⑰ プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品、加工品
- ⑲ 機械ユニット・半製品
- ⑳ 精密機械・生産用機械・業務用機械
- ㉑ 廃棄物
- ㉓ 総合貨物輸送

【12月見込（運送収入）】

① 50%超減	7	2%
② ~50%減	5	1%
③ ~30%減	38	10%
④ ~20%減	69	18%
⑤ ~10%減	143	36%
⑥ 増減なし	106	27%
⑦ ~10%増	16	4%
⑧ 10%超増	8	2%

n= 392



<輸送品目>

(①50%超減)

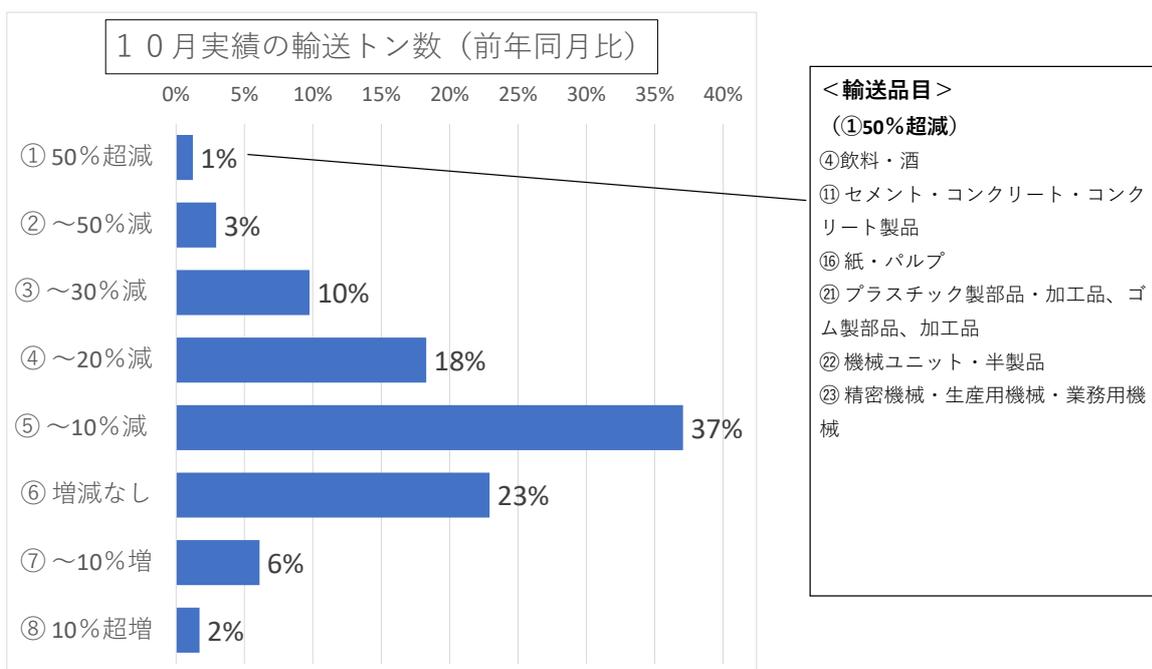
- ④ 飲料・酒
- ⑥ 鉱石・砂利・砂・石材などの鉱産品
- ⑦ 鉄鋼厚板・金属薄板・地金など金属素材
- ⑧ 鋼材・建材などの建築・建設用金属製品
- ⑩ 金属製品・金属加工品（半製品）
- ⑪ セメント・コンクリート・コンクリート製品
- ⑰ プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品・加工品
- ⑲ 機械ユニット・半製品
- ⑳ 精密機械・生産用機械・業務用機械
- ㉑ 廃棄物
- ㉓ 総合貨物輸送

Q5: 令和2年10月～12月の輸送トン数についてお聞きします。(前年同月比)

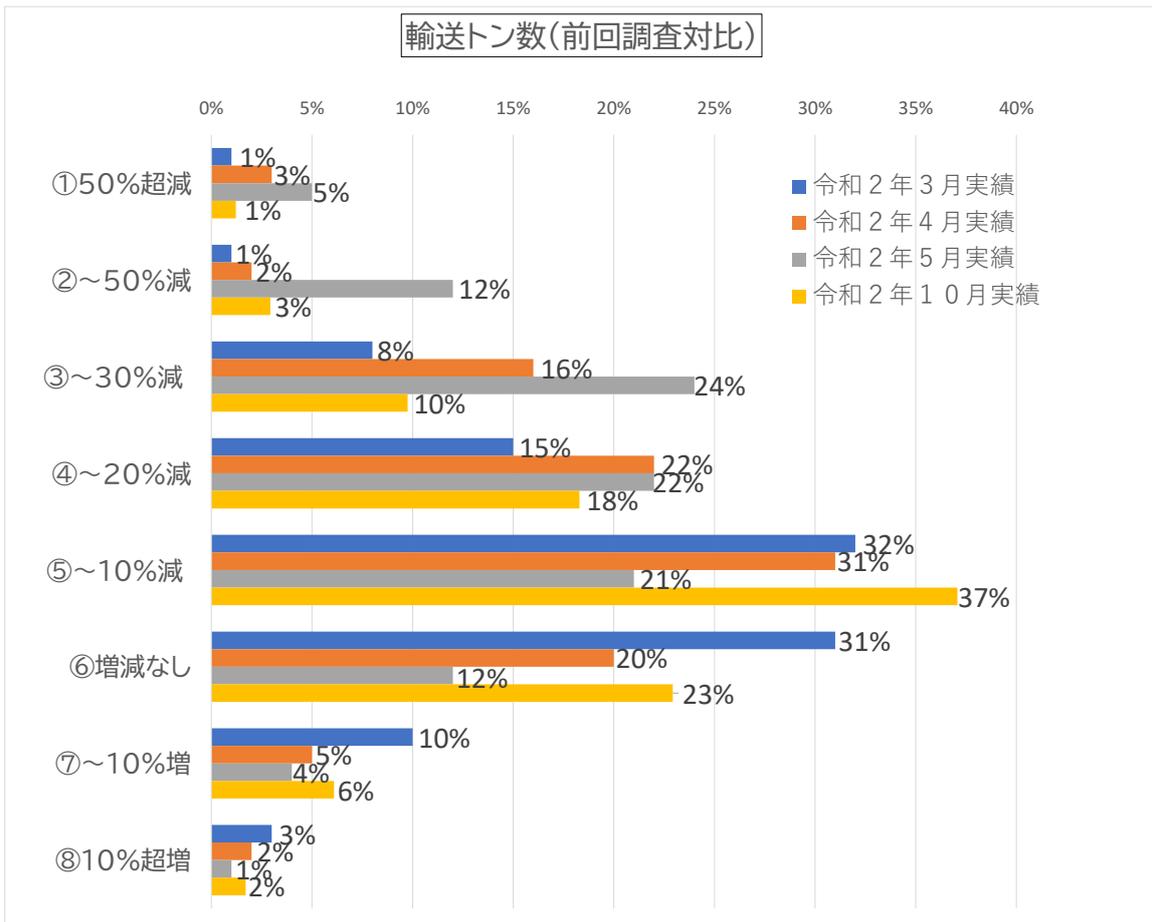
【10月実績（輸送トン数）】

① 50%超減	5	1%
② ～50%減	12	3%
③ ～30%減	40	10%
④ ～20%減	75	18%
⑤ ～10%減	152	37%
⑥ 増減なし	94	23%
⑦ ～10%増	25	6%
⑧ 10%超増	7	2%

n= 410



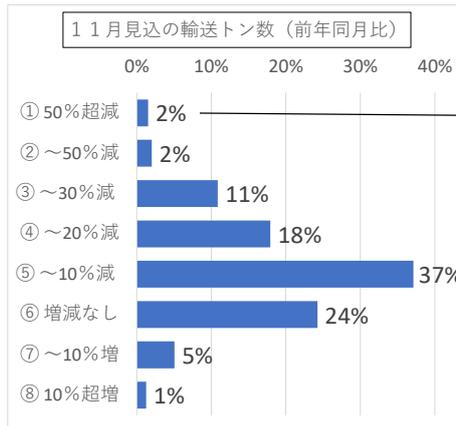
輸送トン数(前回調査対比)



【11月見込（輸送トン数）】

① 50%超減	6	2%
② ~50%減	8	2%
③ ~30%減	43	11%
④ ~20%減	71	18%
⑤ ~10%減	147	37%
⑥ 増減なし	96	24%
⑦ ~10%増	20	5%
⑧ 10%超増	5	1%

n = 396



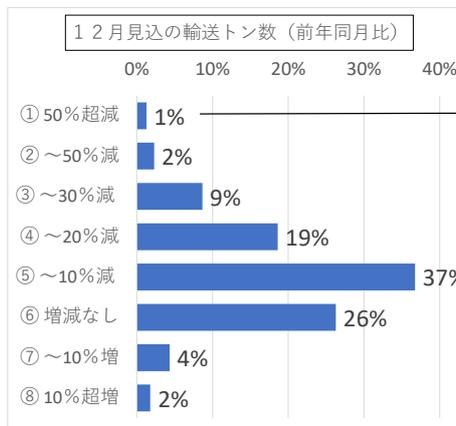
<輸送品目> (①50%超減)

- ④ 飲料・酒
- ⑪ セメント・コンクリート・コンクリート製品
- ⑯ 紙・パルプ
- ㉑ プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品・加工品
- ㉒ 機械ユニット・半製品
- ㉓ 精密機械・生産用機械・業務用機械

【12月見込（輸送トン数）】

① 50%超減	5	1%
② ~50%減	9	2%
③ ~30%減	34	9%
④ ~20%減	73	19%
⑤ ~10%減	144	37%
⑥ 増減なし	103	26%
⑦ ~10%増	17	4%
⑧ 10%超増	7	2%

n = 392



<輸送品目> (①50%超減)

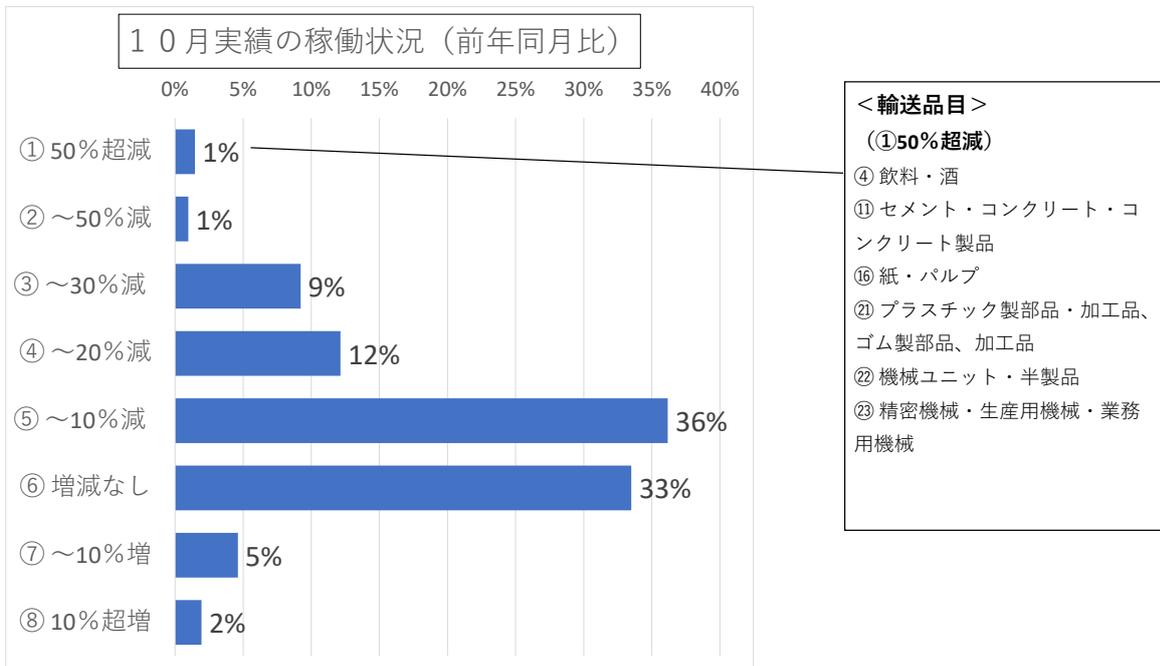
- ④ 飲料・酒
- ⑪ セメント・コンクリート・コンクリート製品
- ㉑ プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品・加工品
- ㉒ 機械ユニット・半製品
- ㉓ 精密機械・生産用機械・業務用機械

Q6: 令和2年10月～12月のトラックの稼働状況についてお聞きします。(前年同月比)

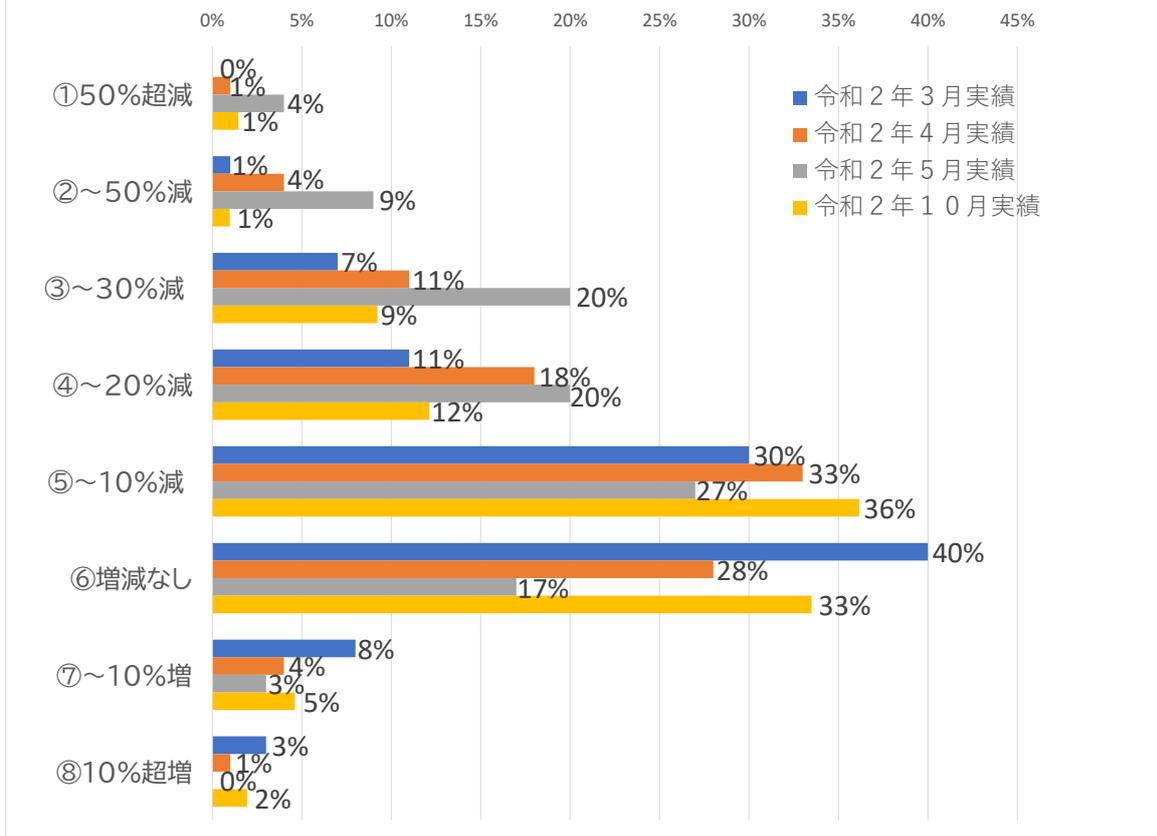
【10月実績 (トラックの稼働状況)】

① 50%超減	6	1%
② ～50%減	4	1%
③ ～30%減	38	9%
④ ～20%減	50	12%
⑤ ～10%減	149	36%
⑥ 増減なし	138	33%
⑦ ～10%増	19	5%
⑧ 10%超増	8	2%

n= 412



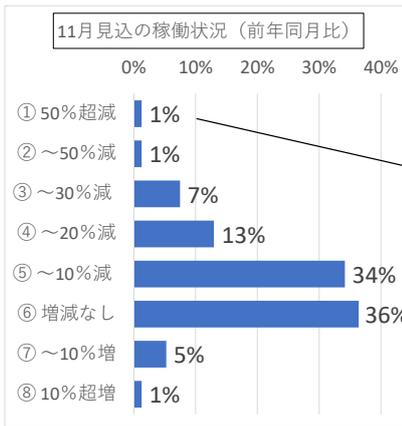
トラックの稼働状況(前回調査対比)



【11月見込（トラックの稼働状況）】

① 50%超減	5	1%
② ~50%減	5	1%
③ ~30%減	30	7%
④ ~20%減	52	13%
⑤ ~10%減	137	34%
⑥ 増減なし	146	36%
⑦ ~10%増	21	5%
⑧ 10%超増	5	1%

n= 401

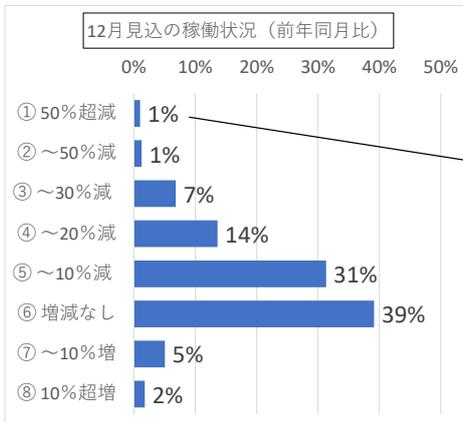


- ＜輸送品目＞（①50%超減）
- ④ 飲料・酒
 - ⑪ セメント・コンクリート・コンクリート製品
 - ⑯ 紙・パルプ
 - ⑳ プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品、加工品
 - ㉑ 機械ユニット・半製品
 - ㉒ 精密機械・生産用機械・業務用機械

【12月見込（トラックの稼働状況）】

① 50%超減	4	1%
② ~50%減	5	1%
③ ~30%減	27	7%
④ ~20%減	54	14%
⑤ ~10%減	124	31%
⑥ 増減なし	155	39%
⑦ ~10%増	20	5%
⑧ 10%超増	7	2%

n= 396

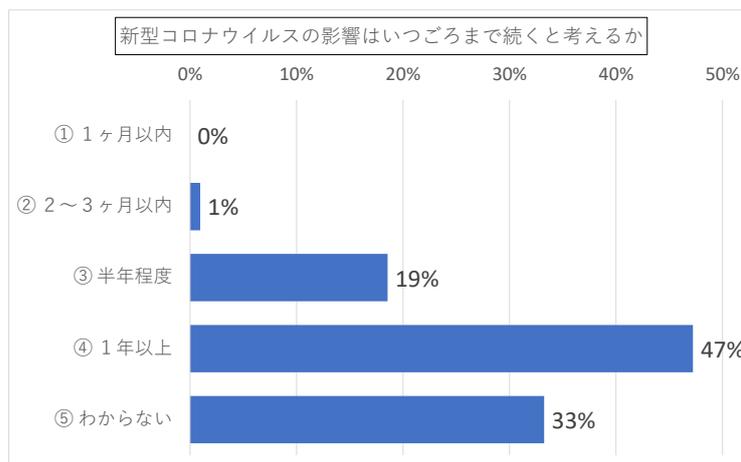


- ＜輸送品目＞（①50%超減）
- ④ 飲料・酒
 - ⑪ セメント・コンクリート・コンクリート製品
 - ⑳ プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品、加工品
 - ㉑ 機械ユニット・半製品
 - ㉒ 精密機械・生産用機械・業務用機械

Q7: 新型コロナウイルスの影響はいつごろまで続くとお考えですか。

① 1ヶ月以内	0	0%
② 2～3ヶ月以内	4	1%
③ 半年程度	77	19%
④ 1年以上	196	47%
⑤ わからない	138	33%

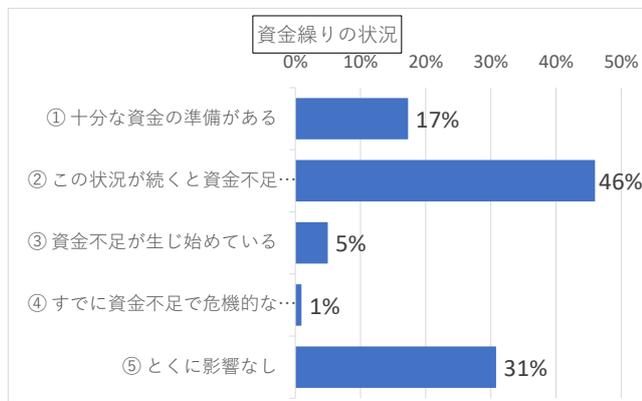
n= 415



Q8: 資金繰りの状況についてお聞きします。

① 十分な資金の準備がある	73	17%
② この状況が続くと資金不足の可能性がる	194	46%
③ 資金不足が生じ始めている	21	5%
④ すでに資金不足で危機的な状況にある	4	1%
⑤ とくに影響なし	130	31%

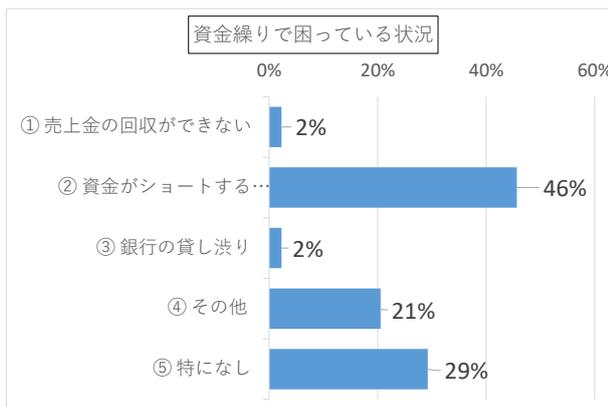
n= 422



Q9: Q8で2.3.4にご回答の方にお伺いします。具体的にはどのような状況ですか。

① 売上金の回収ができない	5	2%
② 資金がショートする(した)ので銀行から借り入れた	100	46%
③ 銀行の貸し渋り	5	2%
④ その他	45	21%
⑤ 特になし	64	29%

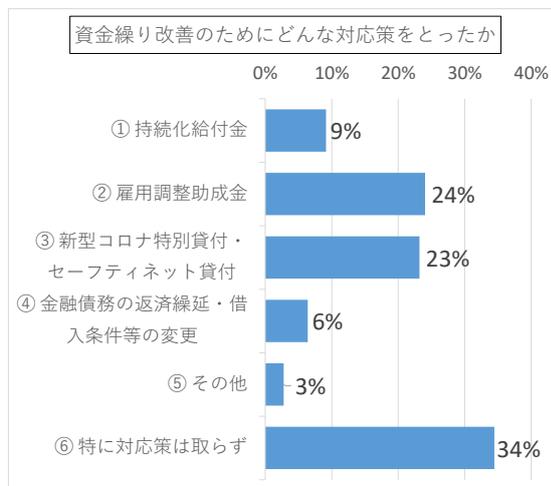
n= 219



Q10: 資金繰り改善のためにどんな対応策をとりましたか。

① 持続化給付金	43	9%
② 雇用調整助成金	113	24%
③ 新型コロナ特別貸付・セーフティネット貸付	109	23%
④ 金融債務の返済繰延・借入条件等の変更	30	6%
⑤ その他	13	3%
⑥ 特に対応策は取らず	162	34%

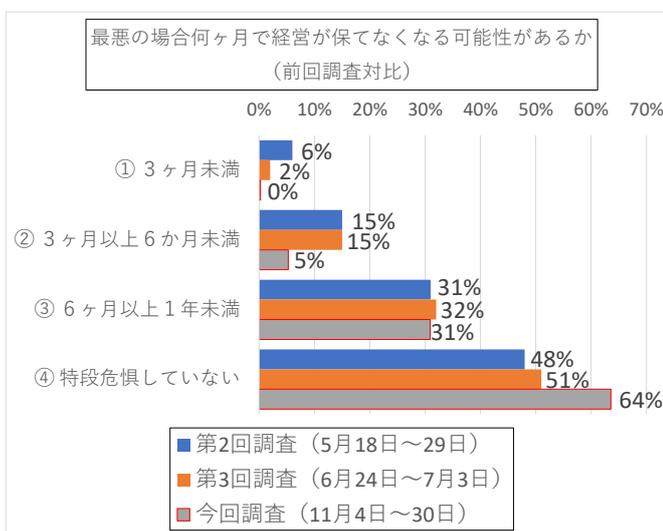
n= 470



Q11: 資金繰りの状況について、現在の状況が続いた時、最悪の場合何ヶ月で経営が保てなくなる可能性がありますか。

① 3ヶ月未満	1	0%
② 3ヶ月以上6か月未満	21	5%
③ 6ヶ月以上1年未満	123	31%
④ 特段危惧していない	253	64%

n= 398

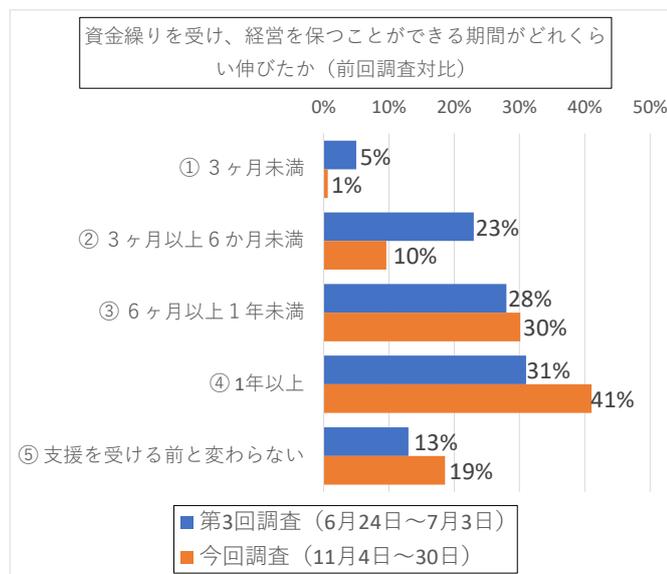


Q12: 第3回調査(前回調査)で「資金繰り支援を活用中」とお答えの方に、資金繰り支援の効果をお聞きます。

資金繰り支援を受けることで、経営を保つことができる期間はどれくらい伸びましたか。

① 3ヶ月未満	1	1%
② 3ヶ月以上6か月未満	15	10%
③ 6ヶ月以上1年未満	47	30%
④ 1年以上	64	41%
⑤ 支援を受ける前と変わらない	29	19%

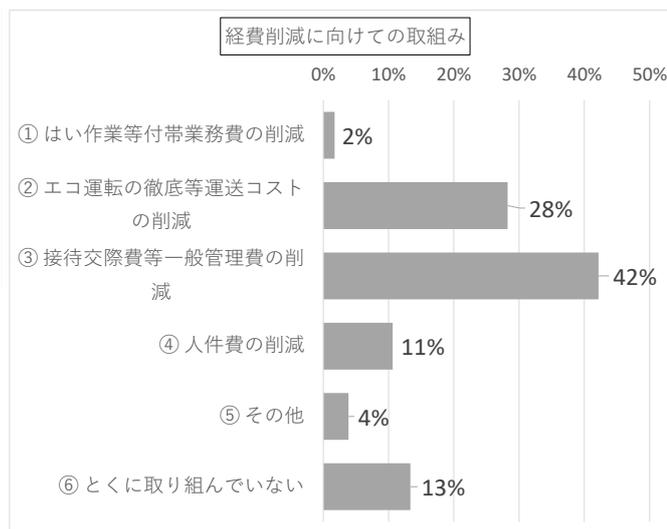
n= 156



Q13: 経費削減に向けての取組みについてどのような取組みをしていますか。

① はい作業等付帯業務費の削減	9	2%
② エコ運転の徹底等運送コストの削減	146	28%
③ 接待交際費等一般管理費の削減	218	42%
④ 人件費の削減	55	11%
⑤ その他	20	4%
⑥ とくに取組んでいない	69	13%

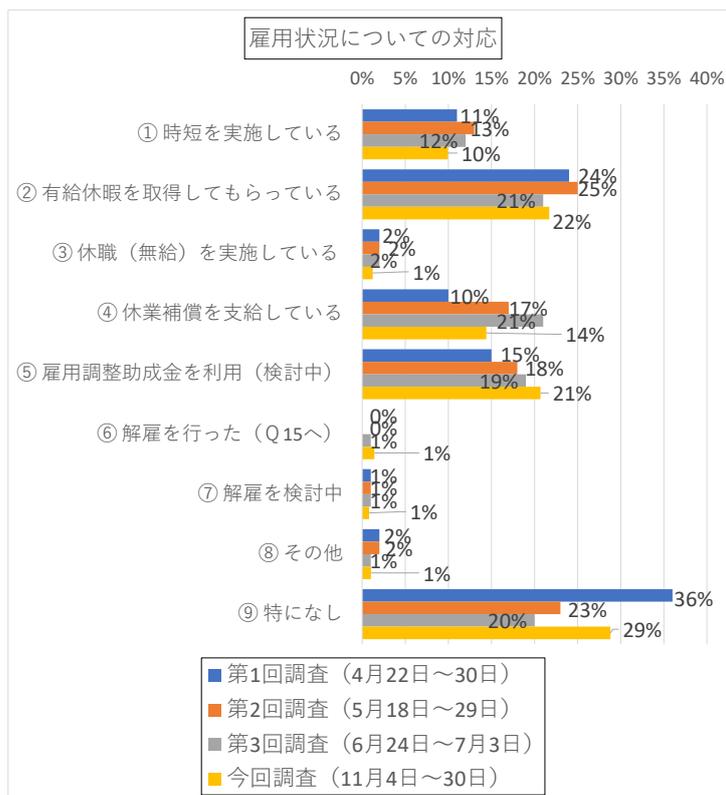
n= 517



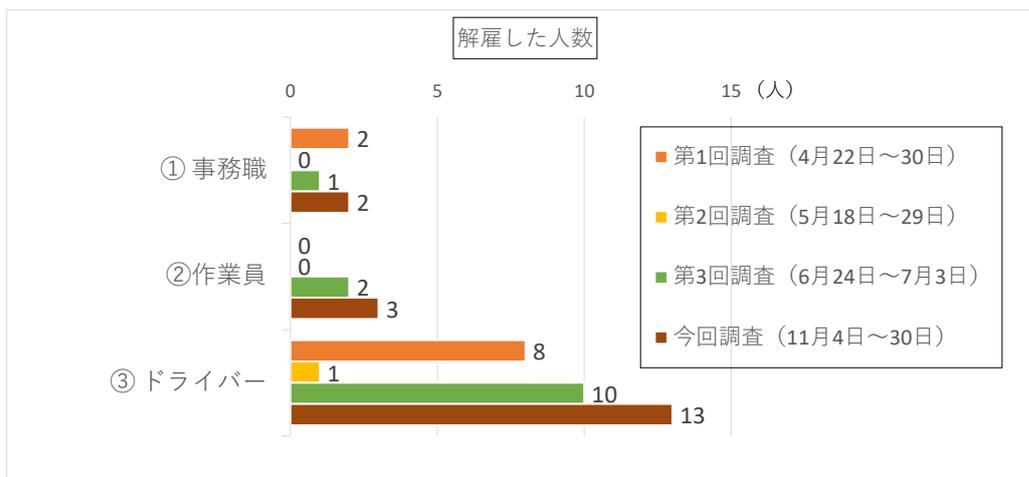
Q14: 雇用状況について対応されたことについてお聞きします。(複数回答可)

① 時短を実施している	49	10%
② 有給休暇を取得してもらっている	107	22%
③ 休職(無給)を実施している	6	1%
④ 休業補償を支給している	71	14%
⑤ 雇用調整助成金を利用(検討中)	102	21%
⑥ 解雇を行った(Q15へ)	7	1%
⑦ 解雇を検討中	4	1%
⑧ その他	5	1%
⑨ 特になし	142	29%

n = 493



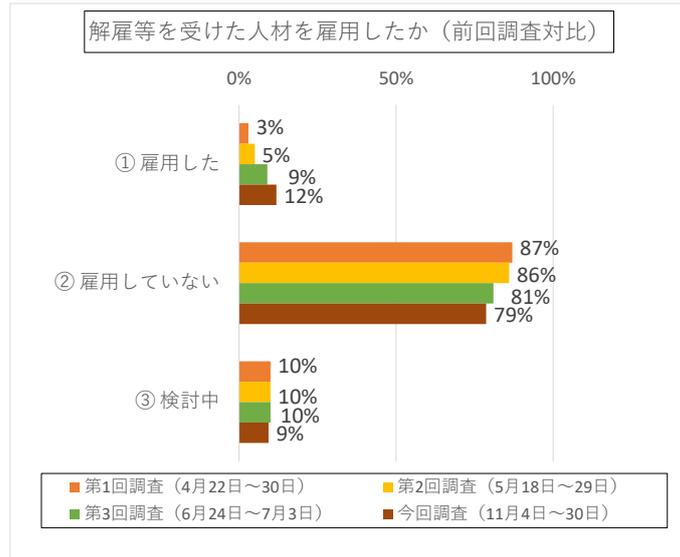
Q15: Q14で「⑥解雇を行った」とお答えの方にお聞きします。その人数をご記入ください。(複数回答可)



Q16: 新型コロナウイルスの影響によって解雇等を受けた人材を雇用(ドライバー等として)しましたか？

① 雇用した	43	12%
② 雇用していない	284	79%
③ 検討中	34	9%

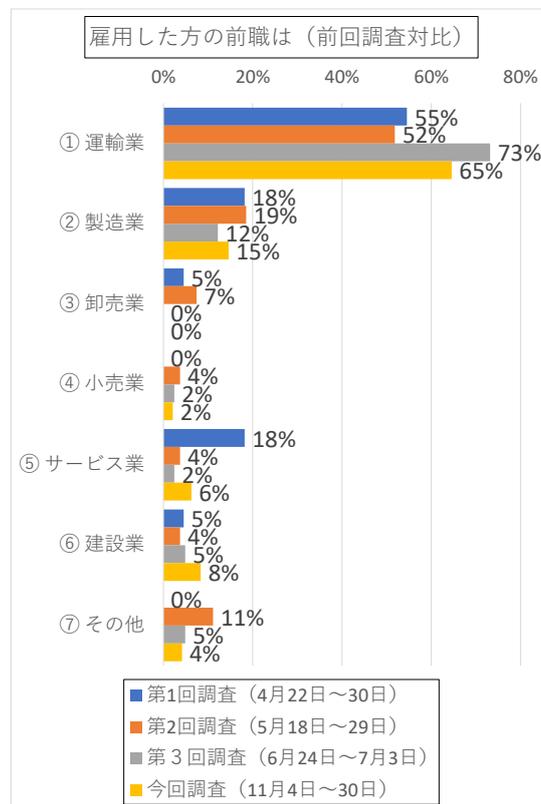
n= 361



Q17: Q16で「①雇用した」とお答えの方にお聞きします。雇用した方の前職の業種は？

① 運輸業	31	65%
(1)トラック運転手	26 (84%)	
(2)バス運転手	3 (10%)	
(3)タクシー運転手	2 (6%)	
② 製造業	7	15%
③ 卸売業	0	0%
④ 小売業	1	2%
⑤ サービス業	3	6%
⑥ 建設業	4	8%
⑦ その他	2	4%

n= 48



Q18: その他、ご意見があればご記入ください。

- ・新型コロナによって需要減が前倒しになる可能性がある。
- ・新型コロナ対応に緊張感をもって取り組んでいくしかない。
- ・金融機関の借入条件が厳しいので協会から働きかけてほしい。
- ・荷主の出荷順調で収入は良いが、万一、新型コロナに罹患すると人的に不安が生じる。
- ・雇用調整助成金は助かっている。仕事が少なくても経営が安定する。
- ・特定貨物のため新型コロナの影響を受けているのかわからない。
- ・長らく不在だった大型車の担当を採用できた。
- ・人材不足の問題がある。法改正がならないと解決にはならないのでは。
- ・現在はお客様の生産も増えて危機を脱しました。

会員各社における新型コロナウイルスによる影響等の現況を把握し経営改善対策に資するため、本調査へのご協力をお願い申し上げます。

下記に回答のうえ、**11月30日(月)**までに**FAX:054-283-1917**でご返信くださいますようお願いいたします。

Q1：貴社の所属分室と静岡県内保有車両数、従業員数 分室 / 県内保有車両数(被けん引除く) 台 / 全従業員数 名

Q2：新型コロナウイルスの発生によって企業活動に影響がありますか？(該当する番号1つを選択してください)

1. かなりマイナス影響がある 2. ややマイナス影響がある 3. あまり影響はない 4. ややプラス影響がある 5. かなりプラス影響がある

Q3：Q2で「①かなりマイナス影響がある、②ややマイナス影響がある」とお答えの方にお聞きます。その品目(荷種)についてお聞きます。(複数回答可)

- | | | |
|---|---|--|
| <input type="checkbox"/> ① 米・麦・穀物 | <input type="checkbox"/> ⑬ 合成樹脂・塗料など化学性原料 | <input type="checkbox"/> ⑳ 完成自動車・オートバイ・自動車などの部品を含む |
| <input type="checkbox"/> ② 生鮮食品 | <input type="checkbox"/> ⑭ 医薬品 | <input type="checkbox"/> ㉑ 再生資源・スクラップ |
| <input type="checkbox"/> ③ 加工食品 | <input type="checkbox"/> ⑮ その他の化学製品 | <input type="checkbox"/> ㉒ 廃棄物 |
| <input type="checkbox"/> ④ 飲料・酒 | <input type="checkbox"/> ⑯ 紙・パルプ | <input type="checkbox"/> ㉓ 宅配便・特積み貨物 |
| <input type="checkbox"/> ⑤ 原木・材木などの林産品 | <input type="checkbox"/> ⑰ 糸・反物などの繊維素材 | <input type="checkbox"/> ㉔ 空容器・辺回送資材 |
| <input type="checkbox"/> ⑥ 鉱石・砂利・砂・石材などの鉱産品 | <input type="checkbox"/> ⑱ 衣服・布団などの繊維製品 | <input type="checkbox"/> ㉕ コンビニ |
| <input type="checkbox"/> ⑦ 鉄鋼厚板・金属薄板・地金など金属素材 | <input type="checkbox"/> ⑲ 日用品 | <input type="checkbox"/> ㉖ 引越 |
| <input type="checkbox"/> ⑧ 鋼材・建材などの建築・建設用金属製品 | <input type="checkbox"/> ㉑ 書籍・印刷物 | <input type="checkbox"/> ㉗ 給食 |
| <input type="checkbox"/> ⑨ 壁紙・タイルなどの住宅用資材 | <input type="checkbox"/> ㉒ プラスチック製部品・加工品、ゴム製部品、加工 | <input type="checkbox"/> ㉘ 国際海上コンテナ |
| <input type="checkbox"/> ⑩ 金属製品・金属加工品(半製品) | <input type="checkbox"/> ㉓ 機械ユニット・半製品 | <input type="checkbox"/> ㉙ 国際航空貨物 |
| <input type="checkbox"/> ⑪ セメント・コンクリート・コンクリート製品 | <input type="checkbox"/> ㉔ 精密機械・生産用機械・業務用機械 | <input type="checkbox"/> ㉚ 総合貨物輸送 |
| <input type="checkbox"/> ⑫ ガソリン・軽油など石油石炭製品 | <input type="checkbox"/> ㉕ 家電・民生用機械 | <input type="checkbox"/> ㉛ その他() |

Q4：令和2年10月～12月の運送収入についてお聞きます。(前年同月比)

【10月実績】 1. 50%超減 2. ～50%減 3. ～30%減 4. ～20%減 5. ～10%減 6. 増減なし 7. ～10%増 8. 10%超増

【11月見込】 1. 50%超減 2. ～50%減 3. ～30%減 4. ～20%減 5. ～10%減 6. 増減なし 7. ～10%増 8. 10%超増

【12月見込】 1. 50%超減 2. ～50%減 3. ～30%減 4. ～20%減 5. ～10%減 6. 増減なし 7. ～10%増 8. 10%超増

Q5：令和2年10月～12月の輸送トン数についてお聞きます。(前年同月比)

【10月実績】 1. 50%超減 2. ～50%減 3. ～30%減 4. ～20%減 5. ～10%減 6. 増減なし 7. ～10%増 8. 10%超増

【11月見込】 1. 50%超減 2. ～50%減 3. ～30%減 4. ～20%減 5. ～10%減 6. 増減なし 7. ～10%増 8. 10%超増

【12月見込】 1. 50%超減 2. ～50%減 3. ～30%減 4. ～20%減 5. ～10%減 6. 増減なし 7. ～10%増 8. 10%超増

Q6：令和2年10月～12月のトラックの稼働状況についてお聞きます。(前年同月比)

【10月実績】 1. 50%超減 2. ～50%減 3. ～30%減 4. ～20%減 5. ～10%減 6. 増減なし 7. ～10%増 8. 10%超増

【11月見込】 1. 50%超減 2. ～50%減 3. ～30%減 4. ～20%減 5. ～10%減 6. 増減なし 7. ～10%増 8. 10%超増

【12月見込】 1. 50%超減 2. ～50%減 3. ～30%減 4. ～20%減 5. ～10%減 6. 増減なし 7. ～10%増 8. 10%超増

Q7：新型コロナウイルスの影響はいつごろまで続くとお考えですか。(該当する番号1つを選択してください)

1. 1カ月以内 2. 2～3カ月以内 3. 半年程度 4. 1年以上 5. わからない

Q8：資金繰りの状況についてお聞きます。(該当する番号1つを選択してください)

1. 十分な資金の準備がある 2. この状況が続くと資金不足の可能性はある 3. 資金不足が生じ始めている
 4. すでに資金不足で危機的な状況にある 5. とくに影響なし

Q9：Q8で2. 3. 4. にご回答の方にお伺いします。具体的にはどのような状況ですか。(該当する番号1つを選択してください)

1. 売上金の回収ができない 2. 資金がショートする(した)ので銀行から借り入れた 3. 銀行の貸し渋り 4. その他 5. 特になし

Q10：資金繰り改善のためにどんな対応策をとりましたか。(複数回答可)

1. 持続化給付金 2. 雇用調整助成金 3. 新型コロナ特別貸付・セーフティネット貸付 4. 金融債務の返済繰延・借入条件等の変更
 5. その他() 6. とくに対応策は取らず

Q11：資金繰りの状況について、現在の状況が続いた時、最悪の場合何ヶ月で経営が保てなくなる可能性がありますか。

1. 3ヶ月未満 2. 3ヶ月以上6ヶ月未満 3. 6ヶ月以上1年未満 4. 特段危惧していない

Q12：第3回調査(前回調査)で「資金繰り支援を活用中」とお答えの方に、資金繰り支援の効果をお聞きます。

資金繰り支援を受けることで、経営を保つことができる期間はどれくらい伸びましたか。

1. 3ヶ月未満 2. 3ヶ月以上6ヶ月未満 3. 6ヶ月以上1年未満 4. 1年以上 5. 支援を受ける前と変わらない

Q13：経費削減に向けての取組みについてどのような取組みをしていますか(検討中も含む)。(複数回答可)

1. はい作業等付帯業務費の削減 2. エコ運転の徹底等運送コストの削減 3. 接待交際費等一般管理費の削減
 4. 人件費の削減 5. その他() 6. とくに取組んでいない

Q14：雇用状況について対応されたことをお聞きます。(複数回答可)

1. 時短を実施している 2. 有給休暇を取得してもらっている 3. 休職(無給)を実施している 4. 休業補償を支給している
 5. 雇用調整助成金を利用(検討中) 6. 解雇を行った(Q15へ) 7. 解雇を検討中 8. その他 9. 特になし

Q15：Q14で「⑥解雇を行った」とお答えの方にお聞きます。その人数をご記入ください。(複数回答可)

1. 事務職(解雇した人数) _____ 人 2. 作業員(解雇した人数) _____ 人 3. ドライバー(解雇した人数) _____ 人

Q16：新型コロナウイルスの影響によって解雇等を受けた人材を雇用(ドライバー等として)しましたか？

1. 雇用した(____人)(Q17へ) 2. 雇用していない 3. 検討中

Q17：Q16で「①雇用した」とお答えの方にお聞きます。雇用した方の前職の業種は？

1. 運輸業【 ① トラック運転手 ② バス運転手 ③ タクシー運転手】 2. 製造業 3. 卸売業
 4. 小売業 5. サービス業() 6. 建設業 7. その他()

Q18：その他、ご意見があればご記入ください。